

I 『あーべ』の歩みと今

われわれの研究グループが、山形市のナナビーンズ（旧松坂屋デパート）5階で活動している、「あーべ」の子育て支援活動をはじめて見学させていただいたのは、2003年3月のことだった。このときに伺った話と、見せていただいたこれまでの活動の報告を参考にして、われわれなりに理解したこれまでの歩みを簡単に紹介しておくことにする。

育児サークルというのは、おそらく、子育て従事者がかかえる諸々の不安や悩み、不便を解消するため、同じ立場にある人々が集まり、互いに支えあうことを緒に形成されるものだろう。直面する必要性が人々をつなぎ、地域密着型での運営が必然とも言えそうである。ただ、「やまがた育児サークルランド」の活動は、そのイメージを超えていた。その広範さは、事業主としての、この団体の組織力の高さを表している。事務局（『子育てランドあーべ』：2002年より運営開始）を訪れると、事業に最適な状態であるように、その施設設備が設計されていることもわかる。『あーべ』だけで、広場開放事業、保育サービス事業、情報提供事業、サークルの交流、女性の自立支援、育児相談事業が行えるような設備が整えられている（施設設備の概要については、巻末資料を参照）のだ。

「やまがた育児サークルランド」は、1998年に団体設立、2003年3月には「やまがた育児サークルランド」としてNPO法人格を取得した。現在の事業内容は、（1）育児サークルや育児支援サークルの支援とネットワーク化事業、（2）保育事業、（3）育児や育児中の生活に関する情報収集と提供事業、（4）女性や育児中の方々の人材育成に関する事業、（5）調査・提言事業、（6）育児支援の様々な事業に対するマネジメント支援及びコンサルティング事業、（7）子育て支援施設の運営事業、（8）子育てに関するイベント事業、（9）その他（運営スタッフの研修とミーティングなど）となっている。

当初から現状を目的として活動が進められてきたわけではないのかもしれない。しかし、成り行きで、偶然たどり着いた歴史ではなさそうである。

「事業」が成立するには、実働する人材は言うまでもなく、効果的な実働のために企図する人材が不可欠であろう。そして、資金と場所。「やまがた育児サークルランド」は、サークルどうしの、横のつながりを求めてのリーダー会議（初回は1996年）が前身である。この会議が継続的に開催され続けたことに、まず、その発端から企図する人材が手腕を発揮していた様子が伺える。団体設立初期における、資金の調達ぶりについても目を見張るものがある。表1に挙げた調査活動は、そもそもは、補助金が支給される資金的うらづけのある補助事業であったために実施できたものだった（代表者談）。調査活動は、実行するために、組織運営とは別種の力量が必要となる。いかに資金を調達するかは、どこのグループでも難問の1つであろう。それを解決するため、さらなる企画力を発揮できるグループは、そう多くはないはずだ。さらに、その調査活動も、ただの資金調達には終わっていない。調査内容を決定した時点で、その意図があったのかもしれないが、この団体が、1998年ごろから手がけてきたテーマを順にみていくと、現在の、9項目にも渡る多角的な事業展開は、調査研究によって得た情報が背景となっているように感じられる。資金の獲得に向けた活動は、最終的には、子育て支援の実践につながっていったのだ。さまざまな活動を、組織化するための視点をもって活動していたからこそその成果ではないだろうか。現在の事務局が、事務担当と保育担当の2部門に、明確に分かれて運営されていることにも、それが示されているように思われる。そして2000年、山形市からの場所の提供を打診され（市内中心部にあるビルの5階）、「やまがた育児サークルランド」に、必要な要素が揃った。2002年、その場所で『子育てランドあーべ』の運営が始まった。『あーべ』はサークルランドの拠点であり、事務局と実際の子育て支援現場が一体となって機能する組織になっている。

NPO法人（2003年より）としての設立目的には、「よりよい子育て環境ができる地域社会の形成、母親も父親もいきいきと子育てや仕事・社会活動ができるような男女共同参画社会の実現」と掲げられている。この目的と実際の事業内容をあわせると、子育てを支援するためには、育児そのものを応援するだけではすまされないという現実が見えてくる。子どもの両親がいかに

社会とつながって暮らすか、そのあり方を探り、情報の発信と人材の育成をおこなっていかなければ、真の意味での子育て支援にはなりえないのだろう。「やまがた育児サークルランド」には、リーダー会議が始まった頃から、このことを見通していけるだけの活動の仕方がそなわっていて、今につながっている。

(文責：小川徳子 高田 薫)

文献（報告書等）

やまがた育児サークルランド 2002 みんなであそぼ～育児サークル活動マニュアル～（社会福祉・医療事業団子育て支援基金助成事業）

やまがた育児サークルランド 2003 「気づき・学び・そしてアクション in やまがた」事業報告書（平成 14 年度文部科学省生涯にわたる男女共同参画学習促進事業）

やまがた育児サークルランド 2004 平成 16 年度第 2 回通常総会資料

表 I 子育てランドあへべ」2004年度現在の運営状況

開館時間	9：00～17：00
施設	<p>託児ルーム (104.4㎡)</p> <p>遊びスペース、ボールプール、各種玩具、テーブル・イス、ベッド、トイレ、赤ちゃん用お風呂</p> <p>おやこ広場 (153.8+30.0㎡)：</p> <p>遊具…エアージャンピング遊具、おままごと用品、積み木？</p> <p>書籍コーナー…絵本、大人用書籍・雑誌</p> <p>授乳室 (12.7㎡)：</p> <p>研修室 (62.2㎡)：ノートパソコン20台、机・イス</p> <p>事務室・受付・相談室 (72.8㎡)</p>
運営スタッフ	<p>運営スタッフ5名、事務補助スタッフ (パートタイマー) 1名…3名でシフト勤務</p> <p>保育者：チーフスタッフ10名…2名ずつ勤務 (曜日ごとに固定、土曜は各曜日スタッフが交替で勤務)</p> <p>スタッフ3名～(33名でシフト制、利用者数に応じて3名～)</p>
スタッフの育成	<p>公募 (子育て支援活動に意欲があり、団体の活動趣旨に賛同する人)</p> <p>研修あり：救急・発達に関する最低限の知識、段階的に研修メニュー</p>
事業内容	<p>広場開放事業：遊具や絵本の常設による、乳幼児の親子の交流</p> <p>保育サービス事業：一時預かり (1時間500円、3時間以内)</p> <p>情報提供事業：ホームページ公開、情報誌「みんなであそぼ」作成・配布</p> <p>サークル (他の育児支援団体) 間の交流：リーダー会議、ミーティング</p> <p>教育と女性の自立支援事業：子育て講座、親子講座、1丁講習会</p> <p>育児相談事業：発達相談、育児相談、絵本相談、ママのための再就職相談、育児サークル相談？</p>